



とうかい

第 19 号

公立学校
共済組合 **東海中央病院**

◆基本理念◆

「最高の誠意」「最善の医療」

◆基本方針◆

- (1) 患者さま尊重の医療
- (2) 診療機能の向上
- (3) 健全経営の維持

がんの化学予防について

内 科 川端 邦裕

日本人の3人に1人はがんで亡くなる現代、がんの原因はどこにあるのでしょうか。

がん細胞は、高い増殖能力と転移しやすいという特徴を持つがゆえに治療困難であります。1 cm角のがんには約10億個のがん細胞が存在すると言われております。また、がんの原因は普段の生活習慣、特に食生活が大きく影響していると言われております。がんの発生リスクを高める要因としてよく言われるのは、

- 1) よくタバコを吸うヒト；タバコに含まれる発がん物質が肺がんを引き起こしたり、副流煙にも発ガン性が証明されています。
- 2) よく肉を食べるヒト；肉を食べるとニトロサミンという発がん物質が体内で生成されます。これが二次胆汁酸とともに細胞にダメージを与え、発がんを引き起こします。
- 3) 野菜を食べないヒト；野菜にはがんを予防する成分が含まれており、野菜を食べることでがんになる危険性は減らされます。
- 4) 強いお酒を飲むヒト；つよいお酒は食道、胃の粘膜を傷つけ発がん物質のダメージを受けやすくします。
- 5) 塩分の取り過ぎなヒト；過剰な塩分は胃の粘膜を傷つけ、発がん物質のダメージを受けやすくします。

がん細胞のでき方

細胞は日々分裂を繰り返し増えています。設計図である遺伝子(DNA)も分裂の際コピーを複製し新しい細胞に伝えられていきます。タバコ、紫外線、排気ガス、ウイルス、放射線などは、細胞の遺伝子に傷をつけ細胞をがん化させます。すなわち、がんは遺伝子の病気なのです。その際、体に備わった防御システムが働けば、遺伝子のダメージを受けないように攻撃因子から細胞を守ることになりますし、仮に攻撃因子に傷つけられても修復遺伝子が体には存在しているので、傷ついた遺伝子は修復されがん化しないようになります。ところが、防御システムが破綻しているような状況・条件下では、正常細胞は攻撃因子に暴露され遺伝子は傷をつけられてしまいます。

傷をつけられた遺伝子そのまま分裂増殖すると、そこにがん細胞が発生してくることになります。簡単なミスであれば修復遺伝子により修復されるのですが、修復遺伝子自体が発がん物質に暴露され異常をきたしていると修復の制御が利かなくなり、がん細胞が発生してしまうことになります。がん発生の原因は遺伝子が傷つくこと、そしてそれを制御・防御している修復遺伝子が正常に働いていることががん予防には大切なのです。従って、遺伝子を傷つけないような生活習慣こそががんになる確率を下げることになるのです。

最近、「生活習慣病の原因に活性酸素が関与している」とよく耳にしますが、活性酸素は本来体内

に侵入してくるウイルスや病原菌を退治したり、ホルモンの合成に関わったりと人間に必要不可欠な役割を担っています。ところが、紫外線、ウイルス、喫煙、過剰なストレスを受けるなどの要因が大量の活性酸素の発生をもたらし、細胞にダメージを与えることが知られています。それもがん化のプロセスの一因であります。活性酸素の消去をすることがこのダメージの防御に他ならないのですが、それが流行の抗酸化作用なのです。抗酸化作用をもつ成分には、ポリフェノール、カロチンやビタミンCなどさまざまな種類があり最近マスコミでよく取り上げられております。

野菜・果物の摂取でがん予防

アメリカ国立がん研究所を中心とした「デザイナーフーズ計画」は野菜や果物、香辛料、穀物などの植物性食品に含まれる成分が、がん予防にどのような機能を果たすのかを科学的に解明してきました。がん予防に高い効果を持つ約40種類の植物性食品を「デザイナーフーズピラミッド」として発表しています。疫学研究においても、がん症例において野菜・果物の摂取量が多いとがんのリスクが低下する可能性が統計学的有意性を持って確認されたと報告しています。その中で、野菜については、口腔・咽頭、食道、胃、大腸、肺の5部位において、果物については、口腔・咽頭、食道、胃、肺の4部位において確実にがんを予防すると報告しています。そして、がん予防のためには少なくとも毎日400グラムの野菜・果物を摂るようにと推奨されております。

空前の健康ブームの中、ポリフェノールが健康維持・疾病予防成分として認知され「健康食品」の代名詞として用いられる程の扱いを受けています。茶葉由来のカテキン類をはじめ、フラボノイド、アントシアニン、タンニン、などさまざまなポリフェノールのヒトに対する機能性が証明されつつあり名実ともに代表的な機能性食品群になっています。ポリフェノールの健康維持に関する高い潜在能力は、マスコミ市場で先行してもはやされた感がありますが、ごく最近になってポリフェノールの健康維持、疾病予防作用に対する期待が世界的に頂点を迎えたといえます。

先に述べた、活性酸素・フリーラジカルなどの発生が発がんに関係していることは多くの研究者が認めるところとなっています。活性酸素・フリーラジカルが「発がん因子」としてDNAに傷をつけ、プロスタグランジンなどの生理活性物質が「発がん促進因子」として作用しがん化が進みます。野菜類には抗酸化作用、発がんプロモーション抑制作用、細胞増殖抑制作用、生態防御機能活性化作用がありがんを予防すると考えられています。

例えば、赤ワインにはポリフェノールが含まれ、色素の成分であるプロシアニジン(PC)が抗酸化作用を有し活性酸素の消去中和に関与すると言われております。最近では、単なる抗酸化作用として働くだけでなくACE (angiotensin-converting enzyme) の活性を阻害すると報告されております。また、ACEの役割として血圧調節のみならずVEGF (vascular endothelial growth factor) を介した血管新生の促進をすることが判明してきており、他剤との併用などによるがん予防分野における今後の展開が期待されております。

カロチノイドとは、赤～黄色の色素の総称であり、βカロチンはその一つです。緑黄色野菜の発がん抑制効果は、βカロチン、ビタミンC、ビタミンEなどが主な要因と考えられています。例えば、αカロチンはにんじんなどに多く含まれ、フコキサンチンはひじきなどの海藻中に含まれるカロチンです。ルテインはブロッコリーやキャベツに含まれるカロチンです。また、お茶の渋みのもとであるカテキン(タンニン)にも抗酸化作用があります。活性酸素の消去中和物質がこのような抗酸化物質にあたり、ポリフェノール、カロチン、カテキン、フラボノイドといった化合物であり、これらが野菜・果物に含まれているのががん予防に効果があると言われるゆえんなのです。いろいろな物質のさまざまな生理活性が如何にがん予防に関与しているか、次の機会でもたお話ししたいと存じます。

個人情報保護法の完全施行に伴い個人情報保護方針を下記のとおり 制定いたしました

東海中央病院個人情報保護方針

当院は信頼の医療に向けて、患者さまに良い医療を受けていただけるよう日々努力を重ねております。「患者さまの個人情報」につきましても適切に保護し管理することが非常に重要であると考えており、そのために当院では、以下の個人情報保護方針を定め確実に履行に努めます。

個人情報の収集について

当院が患者さまの個人情報を収集する場合、診療・看護および患者さまの医療にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は利用目的をあらかじめお知らせし、ご了承を得た上で実施いたします。ウェブサイトで個人情報を必要とする場合も同様にいたします。

個人情報の利用および提供について

当院は、患者さまの個人情報の利用は以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

- ・患者さまの了承を得た場合
 - ・個人を識別あるいは特定できない状態に加工^{*1}して利用する場合
 - ・法令等により提供を要求された場合
- 当院は、法令の定める場合等を除き、患者さまの許可なく、その情報を第三者^{*2}に提供いたしません。
- * 1 単に個人の名前などの情報のみを消し去るのではなく、あらゆる方法をもってしても患者さまを特定できない状態にします。
- * 2 第三者とは、患者さまおよび受領者（当院）以外をいい、本来の利用目的に該当しない、または患者さまによりその個人情報の利用の同意を得られていない団体または個人をさします。

個人情報の適正管理について

当院では、患者さまの個人情報を適正に管理するために以下の事を行います。

- ・正確かつ最新の状態に保ち、漏えい・紛失・破壊・改ざん又は不正なアクセスを防止する
- ・職員に対する教育・啓発活動の実施
- ・管理・責任体制の明確化

個人情報の確認・修正について

当院は、患者さまが個人情報の開示を求められた場合には、すみやかに申請内容を確認し、当院の「個人情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

問い合わせ窓口

当院の個人情報保護方針に関してのご質問や患者さまの個人情報のお問い合わせは医事課 1 番窓口でお受けいたします。

法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、個人情報の保護に関する日本の法令、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

※この方針は、患者さまのみならず、当院の職員および当院に関係するすべての個人情報についても上記と同様に取扱います。

当院での患者さまの個人情報の利用目的

院内での利用

- ・患者さまに提供する医療サービス
- ・医療保険事務
- ・入院等の病棟管理
- ・会計・経理
- ・医療事故等の報告
- ・当該患者さまへの医療サービスの向上
- ・院内医療実習への協力
- ・医療の質の向上を目的とした院内症例研究
- ・ベッドネームや呼び出し放送等患者さまを識別する場合
- ・医薬品・医療材料への名前記入等の医療安全上必要なもの
- ・その他、患者さまに関わる管理運営業務

院外への情報提供としての利用

- ・他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ・他の医療機関等からの照会への回答
- ・患者さまの診療のため、外部への医師の意見・助言を求める場合（画像診断、病理診断等）
- ・検体検査業務等の業務委託
- ・ご家族への病状説明
- ・保険事務の委託
- ・審査支払機関へのレセプトの提供
- ・審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ・事業者から委託を受けた健康診断に係る、事業者へのその結果通知
- ・医師賠償責任保険に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
- ・その他、患者さまへの医療保険事務に関する利用

その他の利用

- ・医療・介護サービスの業務の維持・改善のための基礎資料
- ・外部監査機関への情報提供
- ・関係行政機関等の要請による照会・届出・調査・検査・実施指導（法令に基づき実施）
- ・ご面会の方から入院病室をお問い合わせされた場合のご案内
- ・外線電話によるお取次ぎの場合
- ・防犯上必要な行為（防犯カメラ、来院目的の確認等）

- 当院では、当院の診察券・引換券を所持されている方を、本人または委任の同意を受けた方と判断させていただきますので診察券、引換券等は大切に保管してください。
- 上記のうち、同意しがたい事項がある場合には、その旨を医事課 1 番窓口までお申し出ください。
- お申し出がないものについては、同意して頂いたものとして取り扱わせていただきます。
- これらのお申し出は、いつでも撤回・変更をすることができます。
- 本文面と同様の書面は、<http://www.tokaihp.jp>でも入手できます。

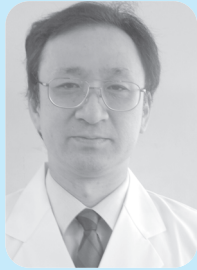
平成17年4月1日
公立学校共済組合 東海中央病院長

新任医師紹介



外科 金子 哲也

この度、第3外科部長に着任いたしました金子哲也と申します。前任地の名古屋大学では主に肝臓、膵臓、胆道の良性（胆石など）、悪性（肝癌、膵癌、胆嚢癌など）を中心に診断、治療を行ってまいりました。腹腔鏡下胆嚢摘出術から肝切除、膵切除など高度な技術を要する手術も数多く手がけてきました。また超音波診断も専門です。肝胆膵治療を中心にこの各務原市民の皆様へ大学病院に匹敵する高度な医療を提供して参りますので、いつでもご相談ください。外来日は月曜、木曜日ですが他の曜日に受診していただいてもかまいません。よろしくお願いいたします。



脳神経外科 雄山 博文

この度、脳神経外科部長に着任いたしました雄山と申します。脳外科といえますと、とても難しいイメージがあり、皆様敬遠されることが多いと思いますが、実は脳梗塞・脳出血等の脳血管障害や、頭部外傷などを扱うとても大切な部門です。治療の緊急性がありますので、体に異変を感じたら24時間いつでも来院していただけますよう、切にお願い申し上げます。その他、頭痛、腰痛、めまい等のなかなか治らない症状にも、できるだけ時間をさいて診療加療させていただきますので、ぜひ受診していただければ幸いです。僣越ながら私雄山は過去22年間に1287件の執刀、3432例以上の治療症例がありますので、外科的神経疾患全般に十分対応できるものと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



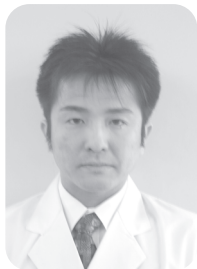
小児科 平野 量哉

小児科に着任いたしました平野 量哉でございます。3月まで近畿でアレルギー疾患を含めた一般小児科と新生児医療を各9年間行ってきました。その経験がアレルギー疾患や乳児検診で問題、不安があるお子様のお役に立てるかと考えております。



内科 小島 克之

この春より、名古屋大学医学部付属病院より当院へ着任いたしました内科の小島です。なかでも呼吸器内科の診療を専門としております。当科で診療する疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺がんと多岐にわたります。当院で呼吸器内科の診療にあたる医師は森瀬先生と私の二人ですが、他の診療科および近隣の医療機関と連携をはかり、より良い医療を提供できるよう努力して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。



循環器科 大島 景

はじめまして、この度4月より循環器科に着任いたしました大島と申します。平成13年卒、現在万博で盛り上がっている瀬戸市の公立陶生病院に4年間勤務いたしました。体を動かすことが好きで、スキー、ダイビングなどが趣味です。また学生時代はジャズをやっていました。各務原市の地域医療に貢献できるよう、がんばりますのでよろしくお願いいたします。

◎初診・再診受付時間▶ 8:30～11:30

◎毎週土・日曜日祭日全科休診

保険証等の提示

お願い 月に一度は保険証・医療証等を保険証提示窓口
に提示してください。



とうかい

発行：〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2
公立学校共済組合 東海中央病院
電話 (0583) 82-3101 / FAX (0583) 82-1762
発行人：病院長 間野 忠明 発行：年4回